

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2168
研究開発課題名	高齢者の認知機能訓練を目的とする対話ロボットの事業化に向けた対話データの解析
研究代表者	理化学研究所 革新知能統合研究センター チームリーダー 大武 美保子

総合評価

技術には独自性が認められ、普及による社会貢献が期待できる。事業化に向けては、エンドユーザーのニーズを明確化するとともに、技術の向上による優位性の確立、市場性や社会受容性の検討等が必要である。

以上